

2018年7月19日

## 世田谷区とシェア園庭スペース提供に関する協定締結 ～当社の保有不動産を活用し、地域の保育サービス向上に貢献～

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、従前より ESG 投資<sup>1</sup>に積極的に取り組んでおり、今年度からは当社グループ 2018-2020 年度中期経営計画『CONNECT 2020』においてコンセプトの一つとして掲げる「より深く地域・社会と『CONNECT』」を達成すべく、「地域活性化・地方創生」を ESG 投資の重点テーマの一つとして取り組んでいます。

今般、それらの取組みの一環として、東京都世田谷区(区長:保坂 展人)と、地域の保育サービスの質の向上を目的とする「第一生命グラウンド使用に関する協定」を締結しましたのでお知らせいたします。

世田谷区では、保育所入所待機児童問題の解決に向けて、保育所の整備が進められています。一方、都市部に新設された保育所については、十分な広さの園庭を併設することが難しく、近隣の公園を園庭として利用する場合でも、複数の保育所の利用が重なる等、外遊びできるスペースが不足するという課題が生じています。

こうした課題を解決するため、当社と世田谷区は、当社が世田谷区内に保有する「第一生命グラウンド」の未利用時間帯を、同区内の複数の保育所が共同利用する園庭(シェア園庭)として一定期間提供することで合意しました。今後、周辺の約 50 の保育所(定員合計:約 750 名)が同グラウンドをシェア園庭として利用する予定です。

当社は引き続き、全国で多数保有する不動産への保育所誘致や、地方のベンチャー企業への投融資を通じた地域経済エコシステム形成の後押し等、資産運用を通じた地域活性化・地方創生に積極的に取り組んでいきます。

### 2018-2020 年度中期経営計画『CONNECT2020』のコンセプト

QOLを高める商品・サービス、  
チャンネルの強化・多様化の加速



事業を通じた  
地域社会の課題の解決



### CONNECT 2020

グループ外との協働で  
事業の可能性を拓げる



グループシナジーを  
さらに発揮し各社が成長を実現



### 2018 年度 ESG投資重点取組テーマ

#### ESGインテグレーションの深化

投資プロセスへのESG要素組み込みなど  
ESGインテグレーションを更に深化

#### ESGテーマ型投資の推進

##### インパクト投資

昨年度開始した  
インパクト投資を  
積極的に推進

##### 地方創生

地域社会の  
課題解決に資する  
投融資の推進

<sup>1</sup> ESG 投資とは、環境(Environment)、社会(Society)、ガバナンス(Governance)の視点を取り入れた資産運用です。

【第一生命グラウンドのシェア園庭利用部分の様子(所在:東京都世田谷区給田1-1-1)】

